

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 長瀬産業株式会社
 コード番号 8012 URL <http://www.nagase.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 洋
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部統括 (氏名) 古川 方理
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東大

TEL 03-3665-3103

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	574,971	—	11,968	—	13,361	—	6,018	—
20年3月期第3四半期	568,422	8.2	17,358	4.4	18,693	4.4	3,595	△65.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	46.81	46.81
20年3月期第3四半期	27.98	27.92

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	414,317	—	199,058	—	46.1	—	1,487.02	—
20年3月期	419,869	—	208,377	—	47.8	—	1,559.97	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 191,169百万円 20年3月期 200,554百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
21年3月期	—	8.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	710,000	△7.2	11,500	△50.1	13,000	△47.6	6,000	△40.0	46.67

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照下さい
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照下さい
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 138,408,285株 20年3月期 138,408,285株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 9,849,237株 20年3月期 9,844,934株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 128,574,556株 20年3月期第3四半期 128,500,634株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年10月30日発表の通期業績予想を修正しております。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
2. 当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

連結経営成績に関する定性的情報の前年同期比は参考として記載しております。

(1) 業績全般の概況

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、自動車、電機・電子業界をはじめとする急速な減産の動きが、素材、設備関連の企業にも波及し、景気が悪化しました。また世界経済におきましても、金融危機の深刻化によって欧米では景気の悪化が顕著となり、アジアでも減速の度合いが強まっております。今後、株式・為替市場の大幅な変動が、さらに景気を下押しする懸念があります。

このような状況のもと、当第3四半期途中から急速に販売が落ち込みましたが、国内販売は3,197億円（前年同期比0.6%減）、海外販売が2,552億6千万円（同3.5%増）となり、売上高は5,749億7千万円（同1.2%増）と累計期間では微増を維持しました。

利益面につきましては、製造子会社における原材料価格の上昇による製造原価の増加や棚卸資産の評価損の計上などにより、売上総利益は575億3千万円（同3.9%減）となりました。さらに退職給付会計における数理計算上の差異の償却などにより一般管理費が増加したため、営業利益は119億6千万円（同31.1%減）、経常利益は133億6千万円（同28.5%減）となりました。また、特別損失に投資有価証券評価損19億1千万円を計上したことなどにより、四半期純利益は60億1千万円（同67.4%増）となりました。前年に比べ増加となった主な要因は、前年同期に商品自主回収関連費用143億円を特別損失に計上したことなどによるものです。

(2) 事業別概況

【化成品】 売上高：2,041億1千万円 前年同期比1.8%増

化成品につきましては、染料・顔料などをはじめとする「色」に関連した商品を取扱う色材事業の販売が海外を中心に拡大しました。一方、ウレタン原料、樹脂原料・添加剤、塗料原料などを扱う機能化学品事業の販売は前年並みにとどまり、界面活性剤および工業用油剤、シリコーンやフッ素関連などの有機合成原料を幅広く取り扱うスペシャリティケミカル事業の販売は減少したため、全体として売上は微増となりました。

【合成樹脂】 売上高：2,049億3千万円 前年同期比1.7%増

合成樹脂につきましては、海外での販売がアセアン地域と北米地域で減少しましたが、香港・台湾を含むいわゆるグレーターチャイナ地域では増加しました。一方、国内においては精密機器・電子機器用途の売上が大きく減少し、自社製品を含む建材および包装資材用途の売上も減少しました。自動車関連用途の売上は第3四半期途中から減少に転じているものの、累計期間では増加を維持し、これらの結果、合成樹脂全体として売上は微増となりました。

【電子】 売上高：1,210億2千万円 前年同期比1.9%減

電子につきましては、電子機器や液晶関連の部材加工ビジネスは大幅に減少しましたが、光学フィルムなど、液晶用部材の販売が大幅に増加し、これらを中心とするディスプレイ事業は拡大しました。一方、変性エポキシ樹脂関連や薬液および液晶・半導体の前工程で使用される薬液供給・管理装置を取り扱う電子化学品事業の売上が減少したほか、半導体後工程関連材料などを扱う情報・機能資材事業も不振であったため、全体として売上は減少しました。

【ライフサイエンス】 売上高 : 437 億円 前年同期比 5.4%増

ライフサイエンスにつきましては、化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア事業の売上は微減となりましたが、ファインケミカル事業における、検査薬・試薬事業などが売上を伸ばしたため、全体として売上は増加しました。

【その他】 売上高 : 12 億円 前年同期比 24.2%減

その他につきましては、前期にポータブルDVDプレーヤー等の自主回収を開始し販売を停止したため、売上が大幅に減少しました。

2. 連結財政状態に関する情報

(1) 資産、負債、純資産等の状況

総資産は、売上の急激な落込みによる在庫の増加や有形固定資産の取得による増加等がありましたが、株価の下落による投資有価証券の含み益の減少等により、前期末に比べ 55 億 5 千万円減少し、4,143 億 1 千万円となりました。

負債は、繰延税金負債の減少がありましたが、期末日休日要因による仕入債務の増加や長期借入金の増加等により、前期末に比べ 37 億 6 千万円増加し、2,152 億円 5 千万円となりました。

純資産は、四半期純利益を計上したものの、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が減少したこと等により、前期末に比べ 93 億 1 千万円減少し、1,990 億 5 千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末の 47.8%から 1.7 ポイント低下し、46.1%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払等がありましたが、税金等調整前四半期純利益等により 125 億 5 千万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等がありましたが、97 億 7 千万円の支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等がありましたが、長期借入による収入がありましたため、12 億 3 千万円の収入となりました。

これらの結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ 8 億 1 千万円増加し、243 億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、米国に端を発した金融危機が、世界的な実体経済へ急速に影響を拡大し、ますます厳しい経営環境が続くと想定しております。

このような状況の中、当社グループにおきましても、主要取引先の最終顧客である自動車、電機・電子業界などにおいて需要が著しく減退していること、在庫・生産調整の動きが継続、拡大していることなどから、通期の連結業績予想は、売上高 7,100 億円 (前年比 7.2%減)、営業利益 115 億円 (同 50.1%減)、経常利益 130 億円 (同 47.6%減)、当期利益 60 億円 (同 40%減) としております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の納付税額の算定に関して、一部の連結子会社におきましては法定実効税率をベースとした年間見積実効税率を用いて計算するなど四半期特有の会計処理を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 通常の販売目的で保有するたな卸資産の評価については、従来、主として低価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、売上総利益、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ617百万円減少しております。
- ③ 当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。尚、この変更による損益への影響はありません。
- ④ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前のリース取引で、これらの会計基準に基づき所有権移転外ファイナンス・リース取引と判定されたものについては、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

この変更による損益への影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,303	23,490
受取手形及び売掛金	234,029	231,823
商品及び製品	44,195	38,705
仕掛品	1,589	1,103
原材料及び貯蔵品	2,956	3,138
その他	12,163	13,319
貸倒引当金	△2,462	△1,964
流動資産合計	316,775	309,615
固定資産		
有形固定資産	39,416	35,837
無形固定資産	2,978	3,375
投資その他の資産		
投資有価証券	47,834	62,546
その他	7,689	8,824
貸倒引当金	△377	△329
投資その他の資産合計	55,146	71,041
固定資産合計	97,541	110,254
資産合計	414,317	419,869
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	143,500	134,864
短期借入金	24,318	24,348
未払法人税等	3,103	4,342
引当金	2,196	3,728
その他	15,444	16,653
流動負債合計	188,562	183,937
固定負債		
長期借入金	13,412	8,993
繰延税金負債	5,148	10,759
退職給付引当金	7,029	6,691
その他	1,106	1,110
固定負債合計	26,696	27,554
負債合計	215,258	211,492

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	10,039	10,017
利益剰余金	168,467	165,664
自己株式	△5,384	△5,342
株主資本合計	182,822	180,039
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,240	18,613
繰延ヘッジ損益	△33	△20
為替換算調整勘定	△1,859	1,922
評価・換算差額等合計	8,347	20,515
新株予約権	235	183
少数株主持分	7,653	7,639
純資産合計	199,058	208,377
負債純資産合計	414,317	419,869

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	574,971
売上原価	517,438
売上総利益	57,532
販売費及び一般管理費	45,563
営業利益	11,968
営業外収益	
受取利息	203
受取配当金	1,050
持分法による投資利益	378
その他	868
営業外収益合計	2,501
営業外費用	
支払利息	751
その他	356
営業外費用合計	1,108
経常利益	13,361
特別利益	33
特別損失	
投資有価証券評価損	1,918
その他	455
特別損失合計	2,374
税金等調整前四半期純利益	11,020
法人税、住民税及び事業税	6,031
法人税等調整額	△1,622
法人税等合計	4,408
少数株主利益	592
四半期純利益	6,018

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	190,349
売上原価	171,869
売上総利益	18,479
販売費及び一般管理費	15,412
営業利益	3,067
営業外収益	
受取利息	57
受取配当金	417
持分法による投資利益	37
その他	369
営業外収益合計	883
営業外費用	
支払利息	263
その他	175
営業外費用合計	438
経常利益	3,511
特別利益	8
特別損失	
投資有価証券評価損	1,845
その他	374
特別損失合計	2,220
税金等調整前四半期純利益	1,299
法人税、住民税及び事業税	628
法人税等調整額	△4
法人税等合計	624
少数株主利益	362
四半期純利益	312

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	11,020
減価償却費	3,917
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,119
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,794
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,636
その他	3,327
小計	18,987
利息及び配当金の受取額	1,477
利息の支払額	△715
法人税等の支払額	△7,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,255
その他	△1,521
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△340
長期借入れによる収入	5,020
配当金の支払額	△3,215
その他	△228
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,236
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,193
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	816
現金及び現金同等物の期首残高	23,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,303

当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) (単位:百万円)

	化成品	合成樹脂	電子	ライフサイエンス	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	204,110	204,935	121,020	43,702	1,201	574,971	—	574,971
(2) セグメント間の内部売上高	43	144	246	23	3,828	4,286	(4,286)	—
計	204,153	205,079	121,267	43,726	5,030	579,257	(4,286)	574,971
営業利益	5,065	3,068	3,144	283	149	11,712	256	11,968

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日) (単位:百万円)

	化成品	合成樹脂	電子	ライフサイエンス	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	63,282	70,396	40,821	15,483	365	190,349	—	190,349
(2) セグメント間の内部売上高	3	47	158	7	1,304	1,520	(1,520)	—
計	63,285	70,444	40,979	15,491	1,670	191,870	(1,520)	190,349
営業利益	1,103	1,074	558	193	53	2,983	83	3,067

(注) 1. 事業の区分は社内管理上使用している区分によっております。

2. 各区分の主な商品

(1) 化成品

染料、染料用助剤、情報記録紙関連商品、製紙用化学品、石油化学製品、合成化学原料、顔料、塗料、インキ用原料、化粧品・トイレタリー用原料

(2) 合成樹脂

熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、無機材料、副資材、合成樹脂製品、合成樹脂関連機器・装置・金型

(3) 電子

LCD・半導体前工程用材料及び装置、LSIアセンブリ材料及び装置、電子精密研磨剤、通信デバイス、低温・真空機器、外観検査機、高機能エポキシ樹脂

(4) ライフサイエンス

医薬・農薬原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、バイオ関連商品、放射線測定サービス、化粧品、健康食品、美容食品

(5) その他

物流サービス、情報処理サービス、職能サービス

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) (単位:百万円)

	日本	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	366,837	117,415	63,744	15,209	11,763	574,971	—	574,971
(2) セグメント間の内部売上高	52,705	11,726	2,148	1,347	3,198	71,125	(71,125)	—
計	419,543	129,141	65,892	16,557	14,961	646,096	(71,125)	574,971
営業利益	5,391	4,004	1,859	199	439	11,894	73	11,968

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日) (単位:百万円)

	日本	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	113,583	44,033	22,838	5,218	4,674	190,349	—	190,349
(2) セグメント間の内部売上高	15,367	4,988	940	399	1,129	22,825	(22,825)	—
計	128,951	49,021	23,779	5,617	5,804	213,174	(22,825)	190,349
営業利益	753	1,539	554	84	124	3,057	9	3,067

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ
 (3) 北米 …………… 米国、カナダ
 (4) 欧州 …………… ドイツ

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) (単位:百万円)

	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州 ・他	計
I 海外売上高	147,184	74,210	17,544	16,327	255,266
II 連結売上高					574,971
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.6	12.9	3.1	2.8	44.4

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日) (単位:百万円)

	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州 ・他	計
I 海外売上高	51,948	26,342	5,980	6,034	90,306
II 連結売上高					190,349
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.3	13.8	3.1	3.2	47.4

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ
 (3) 北米 …………… 米国、カナダ
 (4) 欧州・他 …………… ドイツ

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	
	金 額	百万円
I 売上高		568,422
II 売上原価		508,556
売上総利益		59,866
III 販売費及び一般管理費		42,507
営業利益		17,358
IV 営業外収益		2,428
1. 受取利息		239
2. 受取配当金		1,019
3. 持分法による投資利益		318
4. その他		850
V 営業外費用		1,093
1. 支払利息		772
2. その他		321
経常利益		18,693
VI 特別利益		2,638
VII 特別損失		14,734
1. 商品自主回収関連費用		14,305
2. その他		429
税金等調整前四半期純利益		6,597
法人税等		2,173
少数株主利益		827
四半期純利益		3,595

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	
	金 額	百万円
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益		6,597
減価償却費		3,648
受取利息及び受取配当金		△ 1,259
売上債権の増減額 (△は増加)		△ 22,526
たな卸資産の増減額 (△は増加)		1,116
仕入債務の増減額 (△は減少)		8,346
商品自主回収引当金の増減額 (△は減少)		8,642
その他		△ 3,583
小 計		983
利息及び配当金の受取額		1,504
利息の支払額		△ 739
法人税等の支払額		△ 6,698
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 4,949
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出		△ 4,521
投資有価証券の売却による収入		4,194
無形固定資産の取得による支出		△ 1,197
その他		△ 1,903
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,429
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)		3,690
長期借入による収入		5,926
配当金の支払額		△ 1,348
その他		△ 39
財務活動によるキャッシュ・フロー		8,229
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 132
V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		△ 282
V 現金及び現金同等物の期首残高		21,919
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		452
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高		22,089

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	化成品	合成樹脂	電子	ライフサイエンス	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	200,579	201,449	123,353	41,454	1,585	568,422	—	568,422
(2) セグメント間の内部売上高	39	126	138	29	3,648	3,981	(3,981)	—
計	200,618	201,575	123,491	41,484	5,233	572,403	(3,981)	568,422
営業費用	194,373	196,464	118,459	40,660	5,335	555,294	(4,230)	551,063
営業利益又は営業損失(△)	6,245	5,110	5,032	824	△ 102	17,109	248	17,358

(注) 1. 事業の区分は社内管理上使用している区分によっております。

2. 各区分の主な商品

(1) 化成品

染料、染料用助剤、情報記録紙関連商品、製紙用化学品、石油化学製品、合成化学原料、顔料、塗料、インキ用原料、化粧品・トイレタリー用原料

(2) 合成樹脂

熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、無機材料、副資材、合成樹脂製品、合成樹脂関連機器・装置・金型

(3) 電子

LCD・半導体前工程用材料及び装置、LSIアセンブリ材料及び装置、電子精密研磨剤、通信デバイス、低温・真空機器、外観検査機、高機能エポキシ樹脂

(4) ライフサイエンス

医薬・農薬原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、バイオ関連商品、放射線測定サービス、化粧品、健康食品、美容食品

(5) その他

物流サービス、情報処理サービス、職能サービス

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	370,338	107,111	63,362	17,516	10,093	568,422	—	568,422
(2) セグメント間の内部売上高	61,091	11,497	2,434	1,355	2,571	78,950	(78,950)	—
計	431,429	118,609	65,796	18,871	12,665	647,373	(78,950)	568,422
営業費用	421,539	114,521	63,385	18,552	12,125	630,124	(79,060)	551,063
営業利益	9,890	4,087	2,411	319	540	17,249	109	17,358

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北東アジア …………… 台湾、中国

(2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ

(3) 北米 …………… 米国、カナダ

(4) 欧州 …………… ドイツ

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)(単位:百万円)

	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州 ・他	計
I 海外売上高	140,546	73,444	19,512	13,156	246,660
II 連結売上高					568,422
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	24.7	12.9	3.5	2.3	43.4

(注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北東アジア …………… 台湾、中国

(2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ

(3) 北米 …………… 米国、カナダ

(4) 欧州・他 …………… ドイツ